

# 平成26年度 南山中学校教育目標

## 本校の教育目標

### すべての生徒の いのち かがやく 学校づくり

- |     |                              |
|-----|------------------------------|
| 強 く | 心身ともに鍛え、自らを高めようとする生徒         |
| 正しく | よく学び、真理と正義を尊び、主体的に行動できる生徒    |
| 親切に | 人を思いやる心を持ち、互いに助け合い、ともに成長する生徒 |

校訓「誠」のもとに、学校教育目標「強く・正しく・親切に」を掲げ、心身ともに調和のとれた人間形成を目指す。

## 経営方針

すべての教職員がその専門性を発揮し、その力を結集することで、すべての生徒に生き抜く力を育成するとともに、教育目標の達成を図る。

- ア 心豊かで、確かな学力を身につけ、主体的に行動できる生徒の育成に努める。
  - ・個に応じたきめ細かな学習指導と主体的な学びを推進する。
  - ・自己有用感・存在感を高める集団づくりと自主的な活動を推進する。
- イ 職員が研修を深め、共通理解を図り、協力して学校経営に努める。
  - ・教育活動を円滑に進めるための情報交換と機能的な協働体制づくりを推進する。
  - ・現代的な教育課題に対する認識を深めるとともに実践的な研修を推進する。
- ウ 家庭や地域社会との連携を深め、地域に根ざした開かれた学校づくりに努める。
  - ・学校の教育活動に対する地域の教育力導入を積極的に推進する。
  - ・家庭や地域社会との関係づくりを推進し、信頼関係の強化を図る。

## 本年度の重点努力目標

- ア 学習指導要領の趣旨を生かした学習指導の充実
  - ・基礎的・基本的な知識や技能の習得と確実な定着を図るための指導を推進する。
  - ・言語活動の充実により思考力・判断力・表現力の育成を目指す指導法を研究する。
  - ・教材教具の工夫をし、分かりやすく生徒が意欲的に学ぶ授業づくりを推進する。
- イ 生徒理解を深め、豊かな人間性を育む取り組み
  - ・いじめのない、互いの信頼関係から成り立つ温かい集団づくりを推進する。
  - ・障害に対する正しい理解の下、該当生徒への適切な教育的支援を充実する。
  - ・生徒会活動・部活動を始めとする生徒の意欲的な取り組みを支援する。
- ウ 自ら進路を考え、決定する力を育成する取り組み
  - ・自らの適性を知り、今後の生き方を深く考える教育活動を展開する。
  - ・啓発的な体験活動を進め、勤労観・職業観の形成やよりよい進路選択を推進する。
- エ 特色ある教育の充実
  - ・中庭の開放など、心安らぐ、安全・安心な学習環境整備を推進する。
- オ 家庭・地域社会との連携強化
  - ・情報発信の充実などに努め、開かれた学校づくりを推進する。

## 平成26年度 重点努力目標の達成に向けて

### ア 学習指導要領の趣旨を生かした学習指導の充実

- 基礎的・基本的な知識や技能の習得と確実な定着を図るための指導を推進する。
  - 教材教具を工夫した分かりやすい授業・参加できる授業の実践, 各種学習コンクールの実施, 計画的な家庭学習の推進を図る。
- 言語活動の充実により思考力・判断力・表現力の育成を目指す指導法を研究する。
  - 教師の言葉遣い, 学校図書館の利活用等の言語環境の整備と言語活動を活発かつ適正に取り入れた生徒が学び合う授業の実践研究を行う。(学期1回の各教科研究授業と授業の相互参観)
  - 体験的な学習や問題解決的な学習の導入を推進し, 主体的に学ぶ意欲の向上を図る。
- 教材教具の工夫をし, 分かりやすく生徒が意欲的に学ぶ授業づくりを推進する。
  - ICT環境の整備を進め, 視聴覚教材や教育機器の適切な活用を図る。

### イ 生徒理解を深め, 豊かな人間性を育む取り組み

- いじめのない, 互いの信頼関係から成り立つ温かい集団づくりを推進する。
  - いじめ・不登校0をめざし, 対策委員・SCを中心に生徒理解研修と教育相談を進化させる。
  - 他者理解と互いの信頼関係の上に成り立つ好ましい人間関係で構築された学級づくりを行事や日常活動における意図的指導を通して図る。
  - 日常の課題を取り上げ, 道徳的価値に基づいた生き方についての自覚を深める実践を進める。
  - 学級集団アセスメントの効果的な活用を図り, 一人一人が生きる学級経営を進める。
- 障害に対する正しい理解の下, 該当生徒への適切な教育的支援を充実する。
  - 研修の実施により正しい理解と認識を深め, 障害のある生徒の個別の指導計画の作成により情報の共有化と指導の一貫性を図る。
- 生徒会活動・部活動を始めとする生徒の意欲的な取り組みを支援する。
  - 自主的・自発的・自治的を意識した指導に心がける。

### ウ 自ら進路を考え, 決定する力を育成する取り組み

- 自らの適性を知り, 今後の生き方を深く考える教育活動を展開する。
  - 進路指導主事を中心とした校内体制を整備し, 教員相互が密接に連絡を取り合い, 3年間を見通した, 系統的・発展的な指導計画の基に指導に当たる。
  - 生徒指導個票により, 3年間の指導の集積と情報の共有化を図る。
- 啓発的な体験活動を進め, 勤労観・職業観の形成やよりよい進路選択を推進する。
  - 職場体験などの活動により望ましい勤労観・職業観を形成するとともに, 学校見学会や体験入学を意図的に進め, 進路選択におけるミスマッチの防止に努める。

### エ 特色ある教育の充実

- 中庭の開放など, 心安らぐ, 安全・安心な学習環境整備を推進する。
  - 中庭の有効活用, 校内緑化活動の推進と防災面からの学習環境の見直し・整備を図る。

### オ 家庭・地域社会との連携強化

- 情報発信の充実などに努め, 開かれた学校運営を推進する。
  - 通信やホームページを通して教育活動を家庭・地域住民へ効果的に発信することで, 学校や教育活動への理解・関心の向上を図るとともに双方向の情報伝達を促す。
  - 地域社会との連携のあり方について再検討し, 実践を進める。

この世に生を受けた命が、すべて最大限に尊重され、その能力を十分に発揮できる学校でありたい。そのために、

#### 職員は

◎ 職員はその能力を十分に発揮し、その実現のため、力を合わせてその職責を果たしている。

- ・職員が夢や目標を持ち、かがやいている
- ・一人一人に豊かな愛情を注いでいる

#### 生徒は

1 自分が価値ある人間であると意識でき、目標達成や夢の実現に向けて粘り強く努力している。

- ・自己有用感・自己存在感を与える指導
- ・目標の設定
- ・目標達成への道筋の明確化
- \* 分かりやすく、追究する楽しさを味わえる授業づくり

2 互いの違いを認め合い、互いを尊重し、力を合わせてよりよい学校生活を築こうとしている。

- ・人権意識を高め、あらゆるいじめをしない、させない土壌づくり  
(生活委員会によるいじめ撲滅キャンペーンなど)
- ・結果を第一とする競争関係から 互いの成長を認め合い協力し合う温かい関係づくりへ
- ・自己決定の場を増やし、主体的な活動場面を増やす(授業でも・生活でも)
- \* 生徒理解の研修
- \* 不登校生徒への初期対応のあり方研究

#### 学校全体は

3 学校が安全であり、安心できる環境にある

- ・災害時の倒壊防止対策
- ・ガラスの飛散防止対策
- ・学校進入路の改善
- ・交通安全・生活安全指導
- ・防災教育
- ・危機管理

#### 家庭・地域は

4 地域の方々が、中学生の成長に関心を持ち、見守っている

- ・学校からの情報発信(通信・ホームページなど)
- ・家庭・地域からの情報受信
- ・家庭・地域住民への丁寧な応対・連携への模索

みなで子供たちを育み、彼らの命を輝かせなければいけない！